建学の精神

青山学院の教育は、永久にキリスト教の信仰にもとづいて、行われる。

青山学院教育方針

青山学院の教育は キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、 神の前に真実に生き 真理を謙虚に追求し 愛と奉仕の精神をもって すべての人と社会とに対する責任を 進んで果たす人間の形成を目的とする。

Message



青山学院理事長 堀田 宣彌



_{青山学院院長} 山本 与志春

すべての人と社会のために

Be the Difference

青山学院は、キリスト教信仰にもとづく建学の精神を守りながら、ラインホールド・ニーバーの祈りのとおり「変えることのできるものと、変えることのできないものとを識別」し、改善・改革を進めながら、さらなる飛躍を目指して挑戦しています。AOYAMA VISIONの指針であります、すべての人と社会のために未来を拓くサーバント・リーダーを育成する"Super Global Gakuin"を目指しております。

「青山学院・新経営宣言」は、幼稚園から大学・大学院までが一つのキャンパスにある世界でも稀に見る総合学園として、時代に先駆ける教育・研究を更に充実させるための活動宣言であり、「10点満点の愛校心」と「Be the Difference」(世界は一人ひとりの力で変えられる)を経営スローガンとしています。さらに、財政マネジメントの質の向上のため、"万代基金1000億円"を目標としています。

本学院は、関係者のご支援、ご協力により2024年11月に創立150周年を迎えます。今後も教育・研究機関として社会の負託に応え、歩みを止めることなく前進してまいります。

青山学院は、キリスト教信仰にもとづく教育による、「愛と奉仕の精神をもってすべての人と社会とに対する責任を進んで果たす人間の形成」を目指しています。すべての人と社会とに対する責任を進んで果たす人とは、戦争や貧困、差別、自然災害や気候変動、世界に山積する困難な問題を傍観するのではなく、自ら変革すべく進んで取り組む人です。そのために、多様な価値観を尊重し、対立から協働への道を模索し平和を実現する人です。

青山学院は、誰の命も大切にされ、誰もが教育の機会を 保障され、誰もが公平で安全、安心して暮らせる社会を作 るための教育と研究を進めてまいります。今は変革の時、既 成の概念を取り払い、常識を打ち破り新たな世界を創りだ す時です。

青山学院で学ぶ者が、自分の力や才能を、すべての人と 社会のために喜んで捧げる「地の塩、世の光」たる、「サー バント・リーダー」として生き、新たな世界、真の平和を創り だす者であってほしいと願います。

青山学院のシンボルマーク



青山学院の校章は設置学校ごとに独自のものが使われています。いずれも「信仰の盾(エフェソの信徒への手紙6章16節)」を共通のモチーフとしており、神の守りと揺るがぬ信仰を象徴しています。